



GLOCAL(グローバル) 鳴北

時津町立鳴北中学校
令和6年度 学校だより No.15
令和6年7月2日
文責 校長 山本将司

「心を見つめる教育週間」

6月24日(月)～28日(金)は、「時津っ子の心を見つめる教育週間」でした。そもそも、「心を見つめる教育週間」は、長崎県が平成16年度から開始し、学校と保護者と地域が連携して「地域の子供は地域ではぐくむ」という気運を高めてきた取組です。

この教育週間中、本校では、「生命」について考える道德の授業、情報モラル教育、平和学習、進路学習(高校説明会)などを実施しました。生徒にとっては、今ここにある「命」やこれからの「自分」について学ぶ絶好の機会になったことと思います。

この週間中は、学校を開放し、200名を超える多くの保護者や地域の方々に来航いただき、自由に学校の様子を見てもらいました。本校は「地域とともにある学校」として、週間中以外でも訪問可能ですから、希望がある場合は、ご一報ください。

以下に、教育週間初日に行った校長講話の一節を紹介します。

- ・聖路加国際病院の元院長 日野原重明 先生は「『命』『生きる』とは、我々(人間)に与えられた『時間』のこと。」とおっしゃった。
- ・「時間」は決して戻らない。だから、「命」もやり直しは聞かない。ゲームやバーチャルの世界のように、リセットして初めからやり直すことなんてできない。
- ・あなたの命は、あなただけのものではない。あなたの両親の想いが存分につまっている。友人の想いもつまっている。先生や地域の人たちの想いもつまっている。
- ・長い人生、うまくいかないことは必ずある。たぶん、うまくいかないことの方が多いかも。しれない。
- ・私も失敗を何度もしてきた。大人になってからも、悔しい思いを何度もした。
- ・でも、生きていれば、やり直しができる。新たなスタートがきれる。
- ・そんな時こそ前を向く、隣に悩んでいる人がいれば声をかけ、支援する。
- ・自分の命も他人の命も大切にしないといけない。

鳴北中の挑戦！～郡中総体水泳大会報告～

6月15日(土)・16日(日)に長崎市民総合プールにて、西彼杵郡中学校総合体育大会水泳競技大会が長崎市と共同で開催されました。

出場した選手は、ベストタイムを出す種目もあり、一生懸命に泳ぎ切りました。選手のみなさん、本当にお疲れさまでした。

県大会出場者を以下に紹介します。

女子共通 100m背泳ぎ 第3位 吉川結衣
女子共通 200m背泳ぎ 第2位 吉川結衣
女子共通 50m バタフライ 第2位 中嶋心優
女子1年 50m 自由形 第3位 吉田 渚

新しい先生を紹介します！

全学年6組担任の浦本華蓮先生が、6月28日(金)まで勤務をされ、翌日から産休に入ることになりました。浦本先生がお休みを取る間、代わりに、新しい先生が着任されました。

國分 加奈(こくぶ かな)先生です。國分先生には、これまでの浦本先生のお仕事を継続してもらい、6組さんの担任と1年1～3組の英語科を担当してもらいます。よろしくお祈りします。

浦本先生におかれましては、お体に気を付けて、元気な赤ちゃんを迎えてほしいと願っております。